

## 肉用牛広域後代検定推進事業

藤森祐紀・谷田部隆・吉澤武康・笹沼清孝<sup>1)</sup>

### Individual Performance Test of Sire in Japanese Black Cattle

Yuuki FUJIMORI, Takashi YATABE, Takeyasu YOSHIZAWA, Kiyotaka SASANUMA

#### 要 約

黒毛和種雄子牛3頭について、(社)全国和牛登録協会が定める産肉能力検定直接法に基づき飼育し検定した。検定の結果は、1日平均増体量の平均が1.24 kgで、発育判定3以上を示したものは2頭であった。2頭を選抜し、1頭を保留とした。

キーワード：和牛、種雄牛、直接検定、改良

#### 緒 言

肉用牛の改良を図るため、優れた種雄牛を選抜することを目的に、肉用牛広域後代検定推進事業により選定された基礎雌牛から、指定交配により生産された雄子牛3頭を選抜し、(社)全国和牛登録協会が定めた産肉能力検定直接法に基づき飼育し検定した。

#### 材料および方法

##### 1 供試牛

茨城県肉用牛広域後代検定推進事業で選定した基礎雌牛から、指定交配により生産された生後日齢232~243日齢の雄子牛3頭

##### 2 検定期間

112日間とし、検定開始前20日間を予備飼育に充てた。

##### 3 飼養管理

牛舎は舎内10.7㎡に11.2㎡の運動場を併設した単房式で、給水はウォーターカップにより、給塩は鉱塩を用いて自由摂取させた。敷料はおがくずを使用し、牛床の清掃は毎日実施した。また、削蹄は適宜実施した。飼料は産肉能力検定(直接法)用配合飼料を体重比1.

3%給与した。併せてチモシーの乾草を草架から自由採食させた。

##### 4 調査事項

体重測定は2週間毎、体各部の測定は4週間毎に実施し、開始時と終了時に体型評価を行った。

飼料摂取量は毎日調査し、摂取養分量は「日本標準飼料成分表」2000年度版より算出した。

#### 結果および考察

1 検定を終了した3頭の成績は表のとおりである。

2 1日平均増体量の平均は1.32 kgであった。

3 (社)全国和牛登録協会が定めた体高値による発育判定は3が2頭、2が1頭であった。

4 検定を終了した「勝栄」及び「弥栄平茂」を選抜し、「塙福栄」を保留とした。

1) 茨城県県北農林事務所

## 直接検定成績の概要

整理番号		342	343	344
名 号		勝栄	弥栄平茂	埴福栄
登記記号番号		2007子茨黒 1247347675	2007子茨黒 1242995956	2008子茨黒 1178829721
生年月日		H19.8.10	H19.12.24	H20.3.11
父		茂勝栄	安平照	福栄
母		やよい	ひらしげ	やえざくら
検定開始年月日		H20.4.9	H20.8.20	H20.10.29
開始時日齢 (日)		243	240	232
開始時体重 (kg)		267	253	202
開始時体高 (cm)		113	112	107
検定終了年月日		H20.7.30	H20.12.10	H21.2.18
終了時体重 (kg)		415	410	340
終了時体高 (cm)		126	124	117.4
1日平均増体量 (kg/日)		1.32	1.4	1.23
終了時審査得点		83.5	82.7	81.6
365日齢補正体重 (kg)		428.2	443.6	353.5
余剰濃厚飼料摂取量 (kg)		96	104	70
余剰粗飼料摂取量 (kg)		135	119	46
余剰TDN摂取量 (kg)		106	104	65
粗飼料摂取率 (%)		54	52	49
期待育種価順位	枝肉重量	-	1	-
	ロース芯面積	-	1	-
	脂肪交雑	-	1	-
発育		3	3	2
終了時体型特徴	優点	発育・資質	資質・体幅	資質・体上線
	欠点	肩後・肘後	肘後・やや体上線	発育・前軀
選抜の有無		選抜	選抜	保留